

議会だより

令和元年12月議会

まじよう

No. 127

発行所:宮崎県木城町議会

発行日:令和2年1月20日

印刷:株式会社 宮崎新生社印刷

木城の神楽

比木神楽

中之又神楽

- ◆臨時会・定例会報告 …… 3
- ◆一般質問(5名登壇) …… 6
- ◆議会活動の報告 …… 11
- ◆まちの話題 …… 14

あけましておめでとうございます
本年もどうぞよろしくお願いいたします



議長 神田 直人

あけましておめでとうございます。
日頃より議会に対し、ご支援、ご協力をいただきありがとうございます事に心より感謝申し上げます。

急速に時代が変化する中、町民の暮らしと生活の安定を念じながら、町民の声を町政に届ける役割を担っていきたいと思っております。

昨年、統一地方選挙により3名の新人議員が誕生しました。それぞれが個性を生かしながら成長していつてほしいと考えています。

高齢者の問題、人口減少問題、最近の深刻な防災の問題等、取り組むべき問題は多くありますが、議員全員でしっかりと取り組んでいく所存です。

今後も相談しやすく親しみやすい議会として、町民目線で対話を続けていきたいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

令和元年第6回臨時会(11月)・第7回定例会(12月) 賛否表

第6回臨時会

令和元年第6回臨時会は、11月29日の1日間の会期で開催され、令和元年度一般会計補正予算、国の人事院勧告に基づく一般職の職員の給与に関する条例の一部改正など町長より提案のあった全9議案を可決しました。

○賛成 ×判定 ー：議長

◆全員賛成で可決した議案等 第6回臨時会(11月)

専決処分承認を求めるについて(木城町印鑑条例の一部を改正する条例)
専決処分承認を求めるについて(令和元年度木城町一般会計補正予算 第4号)
専決処分承認を求めるについて(令和元年度木城町一般会計補正予算 第5号)
一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
令和元年度木城町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
令和元年度木城町簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)

◆賛否が分かれた議案等 第6回臨時会(11月)

議案	議員名	久保	桑原	森	眞鍋	中武	黒木	後藤	甲斐	原	神田	結果
特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について		×	×	○	○	○	○	○	○	×	ー	可決
議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について		×	×	○	○	○	○	○	×	×	ー	可決
令和元年度木城町一般会計補正予算(第6号)		×	×	○	○	○	○	○	○	○	ー	可決

『特別職の職員で非常勤のもの給与及び旅費に関する条例』及び『議会議員の議員報酬及び期末手当に関する条例』の一部を改正する条例の制定については、【討論】がありました。

反対

桑原 勝広 議員

誘致企業でありました宮崎キャノンが移転したことで、税収が減るので、執行部と議会のケジメをつけるべきだと思う。 ※一部抜粋

賛成

森 伸夫 議員

人事院の社会情勢を踏まえた勧告を基に、給与決定の原則に則って提案されたものと認識している。特別職の職員についても、給与と責任感を与え強い使命感の中で、重要施策の執行と行財政の運営を行っていただきたい。 ※一部抜粋

◆全員賛成で可決した議案等 第7回定例会(12月)

木城町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例について
木城町心身障害児童福祉手当支給条例の制定について
木城町林道維持管理条例の制定について
木城町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について
木城町重度心身障害者(児)福祉手当支給条例の一部を改正する条例の制定について
木城町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
木城町簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について
令和元年度木城町一般会計補正予算(第7号)
令和元年度木城町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)
令和元年度木城町簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)
令和元年度木城町下水道事業特別会計補正予算(第2号)
令和元年度木城町介護保険特別会計補正予算(第3号)
令和元年度木城町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

第7回定例会

令和元年第7回定例会は、12月6日から7日間の会期で開催され、令和元年度一般会計補正予算、心身障害児童福祉手当支給条例の制定など町長より提案のあった全13議案を可決しました。

補正予算主な事業

令和元年度 ふるさと納税額の実績
3億6,000万円 (令和元年11月30日現在)



歳入(ふるさと納税寄付額) 200,000千円
※今後の見込み
歳出(ふるさと納税に係る諸経費) 132,364千円

令和元年度 ふるさと納税見込額
5億6,000万円!!



障害児通所支援費
9,000千円

障害児の通所サービスを支援。

◆負担割合

国 1/2、県 1/4、町 1/4

歳入歳出それぞれ2億800万円を追加

総額 47億1,300万円



アフリカ豚コレラ侵入 防止緊急支援事業 4,007千円

ワイヤーメッシュ柵の設置補助金。
9農場分。

◆負担割合

国 1/2、県 1/3、町 1/6

自家用飲料水施設 設置補助金 4,646千円

自家用飲料水施設を設置する費用に
対する補助金。
石河内地区：6軒分



寺尾大橋橋梁補修工事 4,469千円

伸縮継手補修の追加工事



子ども達の安全対策は

答 セキュリティ対策等を検討したい



甲斐 政治 議員



子ども達の通学風景

物である。地域の皆様の熱意の賜

用して頂きたい。

う支援、指導していきたい。

策は特別していないが、高鍋

と提示している。

定が無いが良いのか。

たらどうか。

答 教育課長

答 教育課長

答 町長

答 教育長

務と考えるが見解は。

学校現場でも懸念の課題と

問 地域において温度差があ

問 県内でも教育や子育てには

は、周辺環境等の問題を考慮し

いて通達があったが検討された

問 公民館長や行政事務連絡員

問 学力定着を図る。

答 教育長

答 町長

答 町長

答 教育長

も検討したい。

協力できる方を募って対策し

の強化や発展でなく、あえて職

年度末のまとめの段階で活用問

議員と同じ考えである。子ど

答 教育課長

答 教育課長

答 教育長

置を考えたかどうか。

問 通学路周辺の住民に数分

問 公民館長や行政事務連絡員

答 教育長

あるが、全国では悲惨な事件は

地区防犯協会より安全安心活

平成28年度に創設された地域担

2019年度全国統一学力テス

当職員制度の運用実績は。

トの結果と今後の課題は。

保育園の防犯は問題無いか

答 定期的な訓練を実施している



森 伸夫 議員

子育て支援

問 女性中心の職場で防犯上の問題は無いか、訓練等対策は出ているか、散歩コースの安全対策は、また厚生労働省から未就学児の屋外活動の安全確保に向けて「キッズゾーン」の設置指導があったか。

答 福祉保健課長

不審者対策マニュアルを作成し定期的な防犯訓練を実施している。また園外保育計画により、目的地・時間・人員・順路等明確化を行い歩道内を歩く場所や職員の配置場所、信号機や横断歩道時の待機場所等をより注意するように徹底している。

答 町長

厚生労働省から11月12日付で「キッズゾーンの設定の推進について」の通知があった。公安との協議もあるが園外活動時の安全対策に取り組む。

問 来年度以降の「めばえ保育園」の園児数は、保育士の人員確保に問題は無いか、保育能力向上のための研修は充分に行き届いているか。

答 福祉保健課長

本年同様に定員120名を超えると予想している。また必要な保育士数は確保しているが大変苦慮して

いる。保育指針により研修を実施し資質と専門性の向上を図っている。

問 県道・町道を問わず区画線並びに規制線等の不明瞭なものが目につく、今後の整備計画と県公安に對してどのように要望をするのか、保育園並びに学校周辺だけでも早めの整備が出来ないか。

答 総務財政課長

町管理の区画線は道路、パトロールと町民からの情報により緊急度の高い所から整備をしている。県公安管理の規制線は整備が必要な所があれば情報提供している。保育園並びに学校周辺については早急に整備することで考えている。

問 小中学校のいじめ等の問題行動の状況と対策、また自殺防止をどのように学校へ指導をしているか。

答 教育課長

積極的な生徒指導を行い、定例校長会で事案ごとに原因と対策を協議し指導方法について適宜指導をしている。自殺予防は、学校、家庭地域等が連携して命の大切さを考える機会を設定し子ども達の心に寄り添った啓発活動を実施している。

問 小中学校の教職員は、リフレックシブ休暇が取れているか。

答 教育課長

教職員の休暇は取りにくい状況

にあるが、週一回以上のリフレクシブデーと8月にリフレクシブウィークとして教職員の連続休暇取得を促進している。

問 小学校では、ここ数年で3名の教員が年度途中で退職された。原因は何か、学校としての対策・教育委員会としての指導はどのようにされたか。

答 教育長

年度途中の退職については、個人より様々な理由があるがストレス等を抱え込んでメンタル的に苦悩される教職員が多い。教育環境の変化や教育施設への対応、勤務条件の変化等が推察される。毎月の定例校長会で気になる教職員の情報を共有し、校長が一人一人の教職員に目を向け積極的にコミュニケーションを図るきっかけとしている。

問 教育長は「木城の明日を担う心豊かでたくましい人づくり」を目標としているが、「人づくり」をどの様に考えているか、また「ネット依存」や「ゲーム障害」等の状況にある児童・生徒もいると思う。この事については、家庭での教育とルールづくりが重要だが、放任しておく学力低下にも影響するので学校での指導も大切だ。どの様に考えているか、学力向上についてを合わせて伺いたい。

答 教育長

これからの生き抜くバランス感覚を持った人づくり、自らの生き方を追求する意思を育む豊かな人間力の形成を重視した教育が求められている。木城町の素晴らしい地域性と人々の思いを教育につき込みながら進めていきたい。「ネット依存」「ゲーム障害」により学習や健康に悪影響がありいじめや犯罪に巻き込まれるなど様々な問題が懸念される。全校集会や学級活動で情報モラル教育を行っている。また保護者も家庭でのルールづくりを指導をしていきたい。学力向上については、教職員研修を行い特色ある教育活動を推進しながら学習と生徒指導の充実を図り、学力と個性や創造性を伸ばして行きたい。

問 町民文化祭に合わせて「生涯学習のつどい大会」が開催され、内容的には良かったが参加者が少なかつた事が残念。今後は、素晴らしい「生涯学習のつどい大会」として頂きたい。

答 教育課長

若い世代の参加が極めて少ない。開催方法を検討し周知の徹底と各種団体の協力を得ると共に学校における家庭教育学級等とも連携しながら充実した生涯学習のつどい大会としたい。

子ども達の遊び場の設置計画は



中武 良雄 議員

答 現状、具体的な計画はないが検討したい

問 子ども達の遊び場の設置計画はあるか。

答 町長
現在の状況は承知しているが具体的な計画はない。但し3年後の小中一貫義務教育学校のエリア内に公園ができないうか検討の指示をする。



城山公園の遊具

本町の災害対策は大丈夫か

問 避難所の避難設備の状況は。

答 総務財政課長
高城の町地区と中学校、岩淵地区の3ヶ所の34品目備蓄している。水5千6百本、非常食品

5千個、間仕切りセット、発電機は高城地区水防倉庫に4基、木城中1基、高城1基、岩淵公民館5基配置している。

問 今後建設する小中一貫義務教育学校に太陽光と蓄電器の設置計画は。

答 町長

避難所の一つになっているので教育委員会に検討の指示をする。

問 土砂災害ハザードマップによると椎木地区においては堤防決壊や小丸川の水位上昇により3メートル近く浸水する家屋が多いとなっている避難所の確保は、又福祉施設の入所者の避難所確保は。

答 総務財政課長

洪水避難は2階以上の建物で直に避難となっている。本町では木城小中学校と仁の里である。

答 町長

町民の方の避難準備が大事、これから避難所は確保する。福祉避難所は仁の里で十分機能を満たしている。

問 地域防災倉庫はどうするのか。

答 町長

現在、中原、牧之内、陣之内、溜水、百合野の高台に検討している。

問 中之又地区の避難所は土砂災害警戒区域になっているがどうするのか。

答 総務財政課長

県に確認したところ土砂災害警戒区域になっているという事なので今後、地区民と話し合いをして検討していく。

問 災害時に出たごみはどこに置くのか。

答 町民課長

木城町災害廃棄物処理計画に基づき、1次仮置き場を、山塚運動広場、中原運動公園など10ヶ所を考えている。2次仮置き場は百合野の粗大ごみ置き場を考えている。

ごみ収集の現状について

問 現在、年間ごみ処理にかかる経費と10年前との比較は。

答 町民課長

昨年度1億125万5千円。不燃ごみと粗大ごみは横ばいだが可燃ごみは平成21年度に比べ105トン位増えている。ごみ全体では10年間で約31トン増加している。

問 ごみの減量化対策は

答 町民課長

年間を通じて広報、4R運動



中之又地区の現在の避難所（後ろは塊山）

問 体の不自由な高齢者・弱者の方のごみ出し等の対策、支援は。

答 町長

災害廃棄物については、隣近所、有償ボランティアや地区の方々にお願ひして、普通のごみについては、総務省が特別交付税にて支援するとの通知が来ましたので今後、国の動向と通知の内容を見て検討したい。



黒木 泰三 議員

定住促進事業・子育て支援事業は

答 必要なことだろうと思う
検討していく



建設中の住宅

問 転入奨励金、住宅取得奨励金の現状について。

答 まちづくり推進課長

転入奨励金は、総額30万円を3年に分けて支給する制度。本年度11月末現在9世帯90万円の支給。10年間で年平均7〜8件の20人前後。住宅取得奨励金は、本年度11月末現在11件。新築10件、改築1件。奨励金200万円の件数は、この内2件で合計1280万円の支給。年度内に4〜5件予定。

問 空き家対策を含め、更に研究PRを重ね充実した支援事業にするべき。

答 町長

制度や事業は本来見直し検証するべき。職員採用についても首都圏枠を考え移住転入を進めたい。

問 要綱が改正され自治公民館への加入誓約が交わされているがその内容は。

答 まちづくり推進課長

平成28年度に自治公民館への加入を条件としている。昨年までに62件交付しているが脱退者はいない。5年以内に脱退や町外に出る場合は、返還措置をとる。

問 自治会の加入脱退は強制ではないが、脱退者の多い地区では死亡者が出た場合など既に支障があると聞く。また災害発生時など連絡等が心配。この対策について考えは。

答 教育課長

加入者の脱退防止対策は特効薬が無い。課題を解決しながら脱退者が減るように検討していく。

問 調査の結果を参考までに報告します。全加入者にポイントカードを発行し、施設、店舗等を利用した際にポイントを付与する仕組み。住宅取得奨励金制度利用時にポイントカードを発行。町民、商工会や各施設が一体となって活性化につながると思うが、どう考えるか。

答 町長

社会貢献ポイントと思う。社

会貢献ポイントだったら若い人が心置きなく参加でき、「いろんな気付きをもらいながらご褒美がもらえれば良いよね」という記事を読んだことがある。検討してみたい。

保育料の無償化

問 今年10月から始まった保育料無償化制度は、消費税10%値上げと同時に少子化対策として国が打ち出した政策ですが、3〜5歳児は全世帯が対象となっており、0〜2歳児は住民税非課税の低所得者世帯が対象となっているがそれでしょうか。

答 福祉保健課長

質問のとおりである。3〜5歳児までの副食費（おかず・おやつ代等）については、国の基準で4500円を新たに各保育園が徴収することになった。

問 無償化の対象外となっている幼児数は何人か。

答 福祉保健課長

10月現在、入所園児数は全体で280名。無償化対象園児数3〜5歳児が171名、残り109名が0〜2歳児である。

答 町長

0〜2歳児までの完全無償化

は今のところ検討していない。3〜5歳児の副食費4500円については、無償化していく方向で今検討している。



防犯灯・防犯カメラの 取り組みの現状は



久保 富士子 議員

答 町の施設には防犯カメラは一台もない

問 不審者による子供や高齢者を狙った痛ましい犯罪が全国各地で発生し、後を絶たない状況が続いているが、犯罪を未然に防ぐための防犯カメラの設置状況は。

答 総務財政課長

現時点で町が設置している防犯カメラはない。

問 防犯カメラ設置は、犯人特定の有効な手段となり、公共安全を確保するために重要な役割を果たすと思われるが。

答 総務財政課長

防犯対策への活用や犯罪抑止力が期待できる一方で、不特定多数の住民を撮影することになるので、プライバシー権等を侵害する恐れがあり慎重な運用が必要と考えている。

問 防犯灯についてお尋ねしたい。木城温泉館への道沿に街灯がなく夜温泉を利用する町民が暗くて怖いと感じ、防犯灯設置を担当課に要望したが県道なので設置できないと回答を得た。防犯対策上必要ではないのか。

答 総務財政課長

県土木事務所と相談したが、防犯面については町が設置すべきだと回答を得ているが通学路ではないので設置できない。

防災対策の取り組みは

問 本町における自主防災組織は現在、2カ所しかないが今後どのように増やしていくつもりか。また、町民への防災の意識付けは。

答 総務財政課長

各地区に積極的に出向いて説明会を行い、毎年度、防災訓練と防災講演会を交互に行う。町民への防災への意識付けは自治公民館長会や広報きじょう等で啓発を行う。

問 災害が起きることを想定してお互いの意思疎通と縦横の繋がりを密にするため、防災士のネットワークづくりを力を入れるべきであり、防災士資格だけ取得して活動しない人もいるが、補助金を支給しているのだから研修会参加を義務付けたらどうか。

答 総務財政課長

自主的活動が基本と考えているが、補助金を支給しているのので今後検討課題だと考えている。

問 町民を交えた防災会議は行っているのか。また、女性の視点を生かした避難所の開設、運営は。

答 総務財政課長

防災会議は、行政機関や公共機関の職員で構成されていてその内女性1名、女性の視点を生かした居住スペースの確保や生活必需品の整備など考えるので、今後女性委員の登用を行っていききたい。

問 小丸川とその支流の災害対策は。

答 環境整備課長

大雨、台風の直撃が予想される場合、県土木事務所等との連携が取れている。気象庁の予報を見ながら対策本部で判断する。



小丸川の河道掘削工事

議会活動報告

10月

- 1日
 - ・議会全員協議会
 - ・議会運営委員会
 - ・議会広報編集特別委員会
- 2日
 - ・木城町乗合タクシー試験運行開始式 (議長)
 - ・第17回児湯郡障がい者(児)福祉スポーツ大会 (議長)
- 3・4日
 - ・児湯郡(市)町村議会議長会議長・事務局長行政調査 (議長)
- 6日
 - ・第121回木城小学校秋季大運動会 (全議員)
- 8日
 - ・議会広報編集特別委員会
- 10日
 - ・議会広報編集特別委員会
 - ・宮崎県町村議会議長会議臨時総会・議員大会(議員8名)

- 16日
 - ・第15回木城町老人クラブ大会 (議長)
- 21日
 - ・県道東郷西都線整備促進期成同盟会県庁要望活動 (議長)



宮崎県町村議会議員大会
(国富町 農村環境改善センター)

も清新で活発な議会活動に務めるとともに行政改革を加速し、住民の付託に応えることを宣言し、町村財政の強化、議会の機能強化等を決議しました。

研修会では、スポーツ・音楽評論家の玉木正之氏による「日本スポーツ界の現状と課題〜2020年に向けて〜」と題した講演が行われました。

- 11月
 - 2日
 - ・新富町町制施行60周年記念式典 (副議長)
 - ・木城町民文化祭「生涯学習のつどい大会」 (産業文教常任委員長)
 - 3日
 - ・第24回MTB4時間耐久in木城 (議長)
 - 4日
 - ・西米良村村制施行130周年記念式典 (議長)
 - ・木城町文化協会芸能発表会 (副議長)



木城町の農業を考える懇談会

・木城町の農業を考える懇談会 (全議員)

- 5・6日
 - ・市町村議会議員研修 (桑原議員)
- 6日
 - ・宮崎県建築協会要望活動来庁 (議長)
- 7日
 - ・木城町中央婦人学級・福寿大学合同議会意見交換会 (議員8名)
 - ・天皇陛下御即位をお祝いする宮崎県民の集い (正副議長)
- 11日
 - ・児湯郡(市)町村議会議長会議定例会 (議長)
- 12日
 - ・新田原基地周辺協議会九州防衛局要望活動 (議長)
- 13・14日
 - ・町村議会議長全国大会 (議長)
- 16日
 - ・友情都市交流事業毛呂山町訪問 (議長)
- 17日
 - ・第25回東京木城会総会 (議長)
- 19日
 - ・高鍋高校ラグビー部全国大会出場祝賀会・特別後援会活動発会式 (副議長)
- 20・21日
 - ・議員研修会 (正副議長、総務常任委員長、産業文教常任副委員長)
- 22日
 - ・総務常任委員会所管事務調査 (総務常任委員会)
 - ・西都児湯環境整備事務組合議会定例会 (議長、総務常任委員長)
 - ・一ツ瀬川宮農飲雑用水広域水道企業団議会定例会 (議長)
- 23日
 - ・第44回木城町女性のつどい大会 (議長)
- 25日
 - ・第61回宮崎県畜産共進会祝賀会 (副議長、産業文教常任委員長)
- 26日
 - ・議会運営委員会
 - ・宮崎県町村議会議長会議主催町村議会広報研修会 (議会広報編集特別委員会)
 - ・エディター・広報アナリストの吉村清氏による「広報クリニック+理解と共感につなげる議会広報のポイント」と題した講演が行われました。この研修を受け学んだことを生かし、町民

の皆様に興味を持っていただけるような紙面作りに努めてまいります。



町村議会広報研修会

- 28日
 - ・宮崎県町村議会議長会役員・監事合同会 (議長)
- 29日
 - ・第6回木城町議会臨時会
 - ・木城町商工会要望活動 (議長)
- 30日
 - ・石井記念のゆり保育園上棟式 (議長)

12月

- 1日
 - ・議会運営委員会
 - ・議会全員協議会
- 6～12日
 - ・第7回木城町議会定例会

- 12日
 - ・佐々木元氏 高齢者叙勲伝達 (議長)
- 15日
 - ・新田原エアフェスタ2019祝賀会 (議長)



- 17～18日
 - ・新田原基地対策特別委員会
 - ・産業文教常任委員会所管事務調査 (産業文教常任委員長)
- 19～20日
 - ・国会議員等表敬訪問 (議長)
- 23日
 - ・議会広報編集特別委員会
- 25日
 - ・高鍋・木城衛生組合議会定例会 (副議長、総務常任委員長、黒木監査委員)
 - ・東児湯消防組合議会定例会 (議長、総務常任委員長)

議会広報編集特別委員会調査研修

期日

令和元年8月22日(木)～

8月23日(金)

参加者

中武良雄委員長・森伸夫副委員長・久保富士子委員・黒木泰三委員・内野宮克俊係長

研修先

熊本県大津町議会
福岡県宇美町議会

研修内容

議会広報紙の編集、発行の取り組みについて



大津町議会での研修 (大学生も参加)

◎熊本県大津町議会

人口34,743人、議員数16名で活動されており、住民参加型の議会だよりを目指し、「傍聴者の声」を掲載するとともに、「議会への提言、疑問、質問、議会だよりの感想やアイデア」等について、ハガキを掲載し募集されていた。町民との意見交換会を頻繁に行っている。大学生にも傍聴していただき、レポートを提出していただいている。

◎福岡県宇美町議会

人口37,927人、議員数14名で活動されており、表紙のテーマが「子どもの笑顔」を掲げ、複数の子どもを掲載することで、1人でも多くの町民の関心を引くようにしている。議会事務局はサポートのみで、議員だけで編集作業を実施。印刷代の軽減も図っている。声メーター(議会の数)、議会傍聴メーター(議会の傍聴者数)を掲載している。

◎研修まとめ

2日間にわたり、2町議会の議会広報編集について学びました。2町とも国や県の研修会に参加するなど研究熱心でありました。また、町民が議会に対して興味を持つただけでなく、熱心に工夫されていることが聞けてたいへん勉強になりました。私たちが今回の研修を受けた、良いところを取り入れながら、広報紙作りに取り組んでまいります。ぜひ、ご意見等をお聞かせください。



宇美町議会での研修

木城町中央婦人学級・福寿大学との意見交換会

※一部抜粋

期 日

令和元年11月7日(木)

場 所

総合交流センターリバーリス

出席者

議員8名
中央婦人学級・福寿大学23名

議長が議会内容について説明。その後、議会に対しての質問や行政に対しての要望もありましたので一部を掲載します。

議会への質問

Q 議員の選挙時の公約の経過や報告がない。また活動や活躍が見えない。

A 報告の場はありません。活動は議会報(議会だより)にて報告します。

Q 一般質問の内容が物足りない。

A 勉強を重ね質の向上に努めます。

Q 議員と町民の意見交換の場がない。

A 毎年、5月頃に実施予定。今年も選挙のため実施して



意見交換会の様子

ません。各団体との意見交換は要請の都度実施。

Q 議員の視察研修報告を役場内に掲示してほしい。

A 議会定例会にて報告をし、議会報(議会だより)にて掲載しています。また、役場3階議会事務局前にて、閲覧できます。

Q 選挙改選時の候補者の選挙運動の在り方について見直しの考えはないか。

A 今後、町民の方の理解が得られるよう検討します。

行政への要望

Q 地域担当職員の名前を公表してほしい。

A 5月の公民館長会にて公表している。必要な方には配布しています。

Q 空き家対策として、解体して更地にしたら条例にて固定資産税を安くできないか。

A 現状難しい問題です。

Q 高齢者の一人暮らしの人が町営住宅に入居できるようにしてほしい。

A 条例での決まりがあるが、生活上何らかの問題があるなら担当者に相談してほしい。

Q 高齢者の公共施設使用料金を廃止してほしい。

A 山塚運動公園のみ体育協会加入団体は無料、「輝らら」については、町民の健康増進に繋がる目的で法人、その他の公共団体が使用する場合は減免しています。

Q 特定検診で全員心電図をとるようにしていただきたい。

A 来年度より実施予定です。脳ドック検査にMRIだ

けでなく希望者にCT検査をいれていただきたい。

A 今後CT検査のできる病院との契約を検討します。

Q 乳がん検診にエコー超音波検査の導入をしてほしい。

A 今年度中に現在契約している8医療機関と超音波エコー検診のみできるか調整し可能であれば来年度以降に実施をしたい。

Q 子ども達に歴史の教育として1月にあるご神幸祭の時の見送りをできないか。

A 日程的、時間的に難しい。

Q 比木神社、中之又神楽の神事を町のために活用しては。

A ふるさと学習の中で神楽等を取り入れたい。



議会傍聴の様子

議会傍聴アンケート

傍聴者20名中、6名の方からご意見をいただきました。 ※一部抜粋

- 質問する議員によって差が大きい。良くわかる方とわからない方の差が大きすぎる。
- 過去の同様の質問に対する答弁内容と違ったものがある。答弁に一貫性がない。
- 町内の小さな事ばかり話し合っているが、産業に関する質問はないのか。企業を全国から募集する等。
- 議員の質問については精査し、同じような内容の繰り返し等考えていただきたい。町の答弁についても、議員からの具体的な解決策等提案があったら良いと思う。
- 首都圏からの職員(保育士)を募集するのは良い方法と思う。町職員の活性化にもなるのでは。
- 教育長の答弁は初めて聞いたが、わかり易く実のあるものだったので町内小中学生の成長が楽しみ。
- 地域担当職員制度については、町内には認識されていない面が大きいため、再度広報が必要と思う。
- 議員も町民の立場に立つての質問があり、今後も町内を見回り色々な町民の意見を取り上げてほしい。



まちの話題

TOWN TOPICS



日本一早い、木城町成人式の様子



司会者 きのした ゆきか の つて みらい
木下 結希加さん、野津手 夢さん

成人を機にまた一步大人になるので、親に沢山恩返しをしたいと思います。😊



誓いのことば もりべ こうき
守部 孝輝さん

成人としての自覚を忘れず、責任ある行動と人を思いやる優しい心を持って社会に貢献していきたいと思っています。



祝 木城町成人式

アンケート結果 ※一部抜粋

新成人者84名中45名の出席者にお聞きしました。

Q 木城町の良い所は？

自然が豊かな所: 34名

Q 将来、木城町に住みたいと思いますか？

住みたいと思う: 22名

Q 木城町に自慢できるものがありますか？

あります: 41名
川原自然公園、ピノックQ、えほんの郷等

議会傍聴をしてみませんか

12月議会では、20名の方が傍聴に来られました。

次の定例議会は**3月**です。定例会の日程、傍聴などについてのお問い合わせは、議会事務局までお尋ねください。

TEL **32-2213** (直通)

木城町ホームページに
議会情報を掲載しています。

本会議情報や、議会のしくみ、会議録などをご覧いただけます。

〈URL〉 <http://www.town.kijo.lg.jp>



議長 神田直人	発行責任者	委員 黒木泰三	委員 久保富士子	副委員長 森伸夫	委員長 中武良雄	編集委員
------------	-------	------------	-------------	-------------	-------------	------

議会傍聴メーター

2019年3月議会から
議会傍聴に来られた人数です。

100